

精神保健福祉に関する制度とサービス

問題 61 次のうち、「精神保健福祉法」に規定される者として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 退院支援相談員
- 2 精神保健福祉相談員
- 3 相談支援専門員
- 4 退院後生活環境相談員
- 5 成年後見人

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

問題 62 障害者基本法に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 障害者週間を設けることが規定されている。
- 2 法の制定当初から、障害を理由とする差別を禁じている。
- 3 精神障害者の長期入院の解消について規定されている。
- 4 法改正により、「障害者の家族にあつては、障害者の自立の促進に努めなければならない」という規定が削除されている。
- 5 障害者の定義から、発達障害者は除外されている。

問題 63 介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 要介護状態区分は、1～6まで設定されている。
- 2 要介護認定・要支援認定には、有効期間がある。
- 3 第2号被保険者であっても、初老期における認知症である場合、要介護認定を受けることができる。
- 4 予防給付は、要介護の認定を受けた人でも利用できる。
- 5 救護施設に入所している者も、介護保険の給付を利用できる。

問題 64 生活保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 医療扶助は、原則として金銭給付される。
- 2 障害厚生年金3級を受給している場合、障害者加算が認められる。
- 3 障害者加算の金額は、在宅者と入院者で同額である。
- 4 精神障害者保健福祉手帳3級に相当する場合、障害者加算が認められる。
- 5 入院患者日用品費は、原則として金銭給付される。

問題 65 更生緊急保護に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 矯正施設の長からの申出により実施される。
- 2 保護の期間は、最長で3年である。
- 3 仮釈放中の者も対象に含まれる。
- 4 公共の衛生福祉に関する機関等による保護が優先される。
- 5 社会福祉法に規定されている社会福祉事業に含まれる。

問題 66 「医療観察法」における鑑定入院に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 入院期間は、6か月が限度である。
- 2 地方裁判所の命令に基づく。
- 3 精神保健審判員が鑑定する。
- 4 医療観察病棟で実施される。
- 5 精神保健福祉士を付添人として選任できる。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

問題 67 精神保健参与員に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 審判の合議体の構成員である。
- 2 生活環境調査を行う。
- 3 保護観察所に配置される。
- 4 C P A会議を主催する。
- 5 審判期日で意見を述べる。

問題 68 次の記述のうち、社会調査におけるオプトアウトの説明として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 外部との経済的な利益関係等によって、研究が適正に行われないことを指す。
- 2 調査対象者に研究の目的やリスクなど十分に説明を行い、同意を得ることを指す。
- 3 調査対象者の既存の個人情報調査で利用することについて、本人に拒否の機会を保障することを指す。
- 4 調査対象者の心的外傷に触れる質問をすることで、調査対象者の精神的負担が生じることを指す。
- 5 調査対象者の人格や尊厳を傷つけるような言動や行為になっていないか、常に意識することを指す。

問題 69 精神科デイ・ケアの業務改善のために、H精神保健福祉士は大学の研究者と共に利用者に、「デイケアを利用して感じている効果や不満」についてフォーカスグループインタビューを複数回行った。その結果得られたテキストデータをH精神保健福祉士は、意味のある単位に区切ってラベルを付ける作業を行った。

次のうち、この作業を示す用語として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 トライアンギュレーション
- 2 クラスター分析
- 3 サンプリング
- 4 コーディング
- 5 エディティング

(精神保健福祉に関する制度とサービス・事例問題)

次の事例を読んで、問題 70 から問題 72 までについて答えなさい。

〔事 例〕

地元の中小企業で正社員として勤務する J さん(55 歳, 男性)は, 学生時代に統合失調症を発症し, 入院をした。退院後に, 症状はほぼ消失したため, 現在の会社に就職し, 何度か再発の危機はあったが, その都度外来治療で乗り越えてきた。ある日, 勤務中に, 「誰かが自分の命を狙っている」「窓の外に誰かがいる」などの発言がみられるようになり, 心配した勤務先の同僚に付き添われて Y 精神科病院を受診した。J さんは支離滅裂なことを言ったり, 大きな声で叫んだことから, 診察した K 医師(精神保健指定医)は直ちに入院を必要とする状態と判断した。入院を勧めたが, J さんは拒否したため, K 医師は本人の意思によらない入院の手続を進めることとした。なお, J さんの両親はすでに他界しており, 兄弟等の親族もない。(問題 70)

入院後間もなく, J さんは徐々に落ち着きを取り戻した。ある日, J さんは相談室の L 精神保健福祉士に対して, 「給与が出なくなり, 経済的に不安だ」と訴えた。そこで, L 精神保健福祉士は, J さんに対して, 健康保険法に基づく制度を紹介し, 申請方法について説明した。その後の J さんは, この制度を利用できたことにより経済的な不安が解消し, 退院後の自分の生活について考えられるようになった。(問題 71)

3 か月後, J さんは Y 精神科病院を退院した。その後, 外来時に J さんは相談室に寄り L 精神保健福祉士に対し, 「しばらくは働かずに, 自宅で療養して過ごそうと思います。ただ, 家に一人でのいるのも不安があるので, 誰かと話したり, 趣味である絵を描いたりする場所が欲しいと思っています」と相談してきた。そこで, L 精神保健福祉士は, 「障害者総合支援法」において, 創作的活動や生産活動の機会の提供, 社会との交流の促進等を行う Z センターの紹介を検討した。(問題 72)

(注) 「障害者総合支援法」とは, 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 70 次のうち、Jさんの入院の同意者として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村長
- 2 都道府県知事
- 3 Jさんの勤務先の同僚
- 4 Y精神科病院の管理者
- 5 保健所長

問題 71 次のうち、この時点でJさんが利用した制度として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害基礎年金
- 2 障害厚生年金
- 3 傷病手当金
- 4 自立支援医療(精神通院医療)
- 5 一般求職者給付

問題 72 Zセンターに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村地域生活支援事業である。
- 2 自立支援給付の介護給付である。
- 3 自立支援給付の訓練等給付である。
- 4 都道府県地域生活支援促進事業である。
- 5 地域相談支援である。